

【地域活性化総合特区】あわじ環境未来島特区

〔兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市〕

平成23年12月22日指定

【目標】

いのち 生命つながる「持続する環境の島」をつくる

淡路島の最大の強みである恵まれた地理的条件を生かし、エネルギーや食料を自分たちの地域で必要な量をまかないながら、子どもから高齢者までが充実した生活を送ることができる「エネルギーが持続する地域」「農と暮らしが持続する地域」の実現を目指す。



【目標実現に向けた取組】

I 再生可能エネルギーを活用した電力の地産地消の促進



住民参加型の太陽光発電所
(くにうみ太陽光発電所)

II EV導入促進や水素技術の開発を通じた脱炭素社会の推進



あわじ環境未来島を普及啓発する
ラッピング電気自動車

III 農業人材の育成や事業者の参入促進による農業生産の振興



事業者参入によるオリーブ栽培
(北淡路先端ファーム)

IV 淡路島の食ブランド発信や拠点施設の活用による食を中心とした地域づくりの推進



あわじ島まるごと食の拠点施設
(直売所・レストラン「美菜恋来屋」)

【規制の特例措置を活用した主な事業】

＜全国展開済み＞

- ・太陽光発電施設の系統連携に係る迅速な手続の明文化
 - ・太陽光発電施設に係る電気主任技術者の選定要件の緩和
- ＜現行制度で実現可能＞
- ・太陽光発電施設整備における工場立地法上の規制緩和

これまでの活用実績： 5 件



これらの措置が後押しとなり、これまで淡路島内に
51か所の大規模太陽光発電施設が立地

【財政支援措置を活用した主な事業】

- ・洋上風力発電の事業化可能性調査
- ・玉ねぎの島淡路島SDGs資源循環産業体系構築事業
- ・バイオマス資源によるメタン発酵事業化可能性調査

これまでの活用実績： 12 件

【金融支援措置（利子補給金）を活用した主な事業】

- ・大規模な土取り跡地等の未利用地を活用した太陽光発電所の整備

これまでの活用実績： 17 件

上記の実績はいずれも令和7年3月末時点